

SPECIAL INTERVIEW 第1回

## 電子カタログ「カタラボ」活用法

掲載カタログは  
1万ページに及ぶ

各住宅・設備メーカーはリフォーム市場への取り組みを強化する一方で、カタログの電子化にも力を入れている。そんな中、日本建材・住宅設備産業協会が運営する電子カタログポータルサイト「カタラボ」は月間PV(レビュー)数が2100万件を突破。掲載カタログ数は12万33冊、また掲載ページ数は12万3192ページ、会員数は269社に及ぶなど業界最大の電子カタログサイトに成長した。そこで、今回より、同サイトに参加している大手各メーカーのリフォームへの取り組みと「カタラボ」を活用した電子カタログ化の現状について取り上げる。第1回は、パナソニック エコソリューションズ社の太田勉常務に話を聞いた。

## 施工のベネフィットが重要

—モノ作りのメーカーとして、生

活者がハッピーになつたり快適になつたりすることを実感できる商品を開発するのが重要ではないでしょうか。

そうした商品を作り出すことはまさに私どもの責務です。ただ、何が快適か、健康志向のお客様、それとも高気密高断熱志向のお客様、快適にもいろいろな視点がありますね。

どの点を取り上げて商品化していくかが大きなポイントだと思います。

—例えばキッチンでいえば、リビングとダイニングが一体となり、キッチンがオープンなスペースとなつたことが大き点了ですね。

当社ではキッチンのネーミングが4年前に変え、「パナソニックキッチン リビングスタイルショーン」になりましたが、それは将来的にキッチンがリビングのステーションになると想定からです。

今後はさらに機能がどんどん付加される可能性があると思いますが、ポイントは施工様が求めるもの、ベ

本當に施工様の満足につながるかどうかが重要です。

—今年のミラノサローネでの傾向などを見ても、キッチン周りのエネルギーを効率的に使うといった考

えも出ていました。その辺の技術はオールパナソニックになったことでより進歩やすくなつたのではないかですか。

—今年6月には新しいスマートステップ対面プランというキッチンを出しましたが、ここにもLEDをはじめ色々な機能を壁に載せられるようになります。いわゆる総合カタログ的なモノをほぼ入れています。

—すいぶん一気に増やされた。

確かに。当初掲載したのはシステムキッチン、システムバス、トイレ、内装建材、照明ぐらいでした。しかし、スタートしてから私どもの取引先である工務店の方から、「カタラボ」にもっと多くの商品を掲載してほしいという要望が出てきたのです。そのため住宅会社、設計事務所のある方などのお客様に、「パンフレットでも速まります。また、今後は現場でより利用できること」などは大きな目的です。様々な技術をキッチンにもどれだけ持ち込めばいいかといふことは急速に進めていきたいと思います。

「カタラボ」掲載数が4~5倍

—リフォーム業者により高いプレゼン能力が求められる中、御社では建

する一方で、カタログの電子化にも力を入れている。そんな

中、日本建材・住宅設備産業協会が運営する電子カタログポ

ータルサイト「カタラボ」は月間PV(レビュー)数が2100万

件を突破。掲載カタログ数は12

万3192ページ、会員数は269社に及ぶなど業界最大の電子カタログサイトに成長した。そこで、今回より、同サイトに参加している大手各メーカーのリフォームへの取り組みと「カタラボ」を活用した電子カタログ化の現状について取り上げる。第1回は、パナソニック エコソリューションズ社の太田勉常務に話を聞いた。

モバイルアクセスは  
PCの4.7倍

閲覧できるということはメリットが大きいと判断しました。

—メーカーとして「カタラボ」に参加する一番のメリットは、

まずいろいろな方に見ていただく機会、アクセスポイントが増えると

いうことが最大のメリットではないでしょうか。全メーカーのカタログが閲覧できるというのに加えて、

—現場で活用できる点も魅力です。

そうですね。「カタラボ」はタブレット端末、パソコンから閲覧ができるので、例えば現場やお客様の家などでプレゼンに利用できることも大きなメリットです。実際今、スマートフォンやタブレット端末でのアクセス数が急増しています。

—さらにモバイルツールからのアクセス数は増えていくのです。

現在、すでにスマートフォンやタブレットから見られている割合はパソコンの4.7倍になっています。

その比率はどんどん高まっています。

—オールパナソニックの力を持つてすれば、生活が大きく変わらるようなにしています。

—新商品も生まれるので。

それが私どもパナソニックが1本になつた大きな目的です。様々な技術をキッチンにもどれだけ持ち込めばいいかといふことは急速に進めていきたいと思います。

—「カタラボ」を使えばそのスピードも速ります。

また、今後は現場でより利用できること」などは大きな目的です。

ただ、とにかくコストを抑えたいです。それこそちょっとミスがあると紙は刷り直しますが、電子化だと修正するだけですか

だけにとどまらず、CADデータや、取扱説明書も出せるようになればと思っています。

—リフォームの場合、施工後にどう変わるかシミュレーションが重要で

だけにとどまらず、CADデータや、取扱説明書も出せるようになればと思っています。

—リフォームの場合、施工後にどう変わるかシミュレーションが重要で

ません。

—「カタラボ」の魅力は、ワンストップでいろいろなメーカーのいろいろな商品が見られるところだと思います。しかし、もともとオールパナソニックで、住宅に関わるほんどの商品を持った御社が、なぜここまで積極的に参加

を。

特にカラーリングに関しては比べてご覧いたくことが画面でできますから、非常にお客様の説得力は高くなります。カラー・シミュレーションなど納入事例を写真でたくさんご覧いただけるのが、今好評です。

—「カタラボ」も確認できるポータルサイトが必要でしょう。

特にこれからリフォームがどんどん増えていく中、動画の配信や購入者の声などを掲載していくことも盛んになってくるでしょう。「カタラボ」も今後、より進化していくほしいと思います。

—紙のカタログに対する形を持つていかないといけないんじゃないのか、という思いはあります。紙を減らして電子化できればコストも減ります。

—紙のカタログは、年間で膨大な投資です。

—実際はゼロになることはないと思います。

特にある程度年配の方は紙カタ

ログを使い込んでいますからね。

カタログのこの辺りのページの右隅にあの商品があるので、のうな覚え方をされていますので、レイアウト変更することも難しい。それぐらい使い込んでいたいているので、そういう方に、じゃあ今後はすべて「タブレット端末」で、というわけ

住宅用設備・建材の  
ほぼ全てをカバー

—紙のカタログは、年間で膨大な投資です。

—実際はゼロになることはないと思います。

特にある程度年配の方は紙カタ

ログを使い込んでいますからね。

カタログのこの辺りのページの右隅にあの商品があるので、のうな覚え方をされていますので、レイアウト変更することも難しい。それぐらい使い込んでいたているので、そういう方に、じゃあ今後はすべて「タブレット端末」で、というわけ

もいきません。

—「カタラボ」の魅力は、ワンストップでいろいろなメーカーのいろいろな商品が見られるところだと思います。しかし、もともとオールパナソニックで、住宅に関わるほんどの商品を持った御社が、なぜここまで積極的に参加

を。

特にカラーリングに関しては比べてご覧いたくことが画面でできますから、非常にお客様の説得力は高くなります。カラー・シミュレーションなど納入事例を写真でたくさんご覧いただけるのが、今好評です。

—「カタラボ」も確認できるポータルサイトが必要でしょう。

特にこれからリフォームがどんどん増えていく中、動画の配信や購入者の声などを掲載していくことも盛んになってくるでしょう。「カタラボ」も今後、より進化していくほしいと思います。

—紙のカタログに対する形を持つていかないといけないんじゃないのか、という思いはあります。紙を減らして電子化できればコストも減ります。

—紙のカタログは、年間で膨大な投資です。

—実際はゼロになることはないと思います。

特にある程度年配の方は紙カタ

ログを使い込んでいますからね。

カタログのこの辺りのページの右隅にあの商品があるので、のうな覚え方をされていますので、レイアウト変更することも難しい。それぐらい使い込んでいたているので、そういう方に、じゃあ今後はすべて「タブレット端末」で、というわけ

もいきません。

—「カタラボ」の魅力は、ワンストップでいろいろなメーカーのいろいろな商品が見られるところだと思います。しかし、もともとオールパナソニックで、住宅に関わるほんどの商品を持った御社が、なぜここまで積極的に参加

を。

特にカラーリングに関しては比べてご覧いたくことが画面でできますから、非常にお客様の説得力は高くなります。カラー・シミュレーションなど納入事例を写真でたくさんご覧いただけるのが、今好評です。

—「カタラボ」も確認できるポータルサイトが必要でしょう。

特にこれからリフォームがどんどん増えていく中、動画の配信や購入者の声などを掲載していくことも盛んになってくるでしょう。「カタラボ」も今後、より進化していくほしいと思います。

—紙のカタログに対する形を持つていかないといけないんじゃないのか、という思いはあります。紙を減らして電子化できればコストも減ります。

—紙のカタログは、年間で膨大な投資です。

—実際はゼロになることはないと思います。

特にある程度年配の方は紙カタ

ログを使い込んでいますからね。

カタログのこの辺りのページの右隅にあの商品があるので、のうな覚え方をされていますので、レイアウト変更することも難しい。それぐらい使い込んでいたているので、そういう方に、じゃあ今後はすべて「タブレット端末」で、というわけ

もいきません。

—「カタラボ」の魅力は、ワンストップでいろいろなメーカーのいろいろな商品が見られるところだと思います。しかし、もともとオールパナソニックで、住宅に関わるほんどの商品を持った御社が、なぜここまで積極的に参加

を。

特にカラーリングに関しては比べてご覧いたくことが画面でできますから、非常にお客様の説得力は高くなります。カラー・シミュレーションなど納入事例を写真でたくさんご覧いただけるのが、今好評です。

—「カタラボ」も確認できるポータルサイトが必要でしょう。

特にこれからリフォームがどんどん増えていく中、動画の配信や購入者の声などを掲載していくことも盛んになってくるでしょう。「カタラボ」も今後、より進化していくほしいと思います。

—紙のカタログに対する形を持つていかないといけないんじゃないのか、という思いはあります。紙を減らして電子化できればコストも減ります。

—紙のカタログは、年間で膨大な投資です。

—実際はゼロになることはないと思います。

特にある程度年配の方は紙カタ

ログを使い込んでいますからね。

カタログのこの辺りのページの右隅にあの商品があるので、のうな覚え方をされていますので、レイアウト変更することも難しい。それぐらい使い込んでいたているので、そういう方に、じゃあ今後はすべて「タブレット端末」で、というわけ

もいきません。

—「カタラボ」の魅力は、ワンストップでいろいろなメーカーのいろいろな商品が見られるところだと思います。しかし、もともとオールパナソニックで、住宅に関わるほんどの商品を持った御社が、なぜここまで積極的に参加

を。

特にカラーリングに関しては比べてご覧いたくことが画面でできますから、非常にお客様の説得力は高くなります。カラー・シミュレーションなど納入事例を写真でたくさんご覧いただけるのが、今好評です。

—「カタラボ」も確認できるポータルサイトが必要でしょう。

特にこれからリフォームがどんどん増えていく中、動画の配信や購入者の声などを掲載していくことも盛んになってくるでしょう。「カタラボ」も今後、より進化していくほしいと思います。

—紙のカタログに対する形を持つていかないといけないんじゃないのか、という思いはあります。紙を減らして電子化できればコストも減ります。

—紙のカタログは、年間で膨大な投資です。

—実際はゼロになることはないと思います。

特にある程度年配の方は紙カタ

ログを使い込んでいますからね。

カタログのこの辺りのページの右隅にあの商品があるので、のうな覚え方をされていますので、レイアウト変更することも難しい。それぐらい使い込んでいたているので、そういう方に、じゃあ今後はすべて「タブレット端末」で、というわけ

もいきません。

—「カタラボ」の魅力は、ワンストップでいろいろなメーカーのいろいろな商品が見られるところだと思います。しかし、もともとオールパナソニックで、住宅に関わるほんどの商品を持った御社が、なぜここまで積極的に参加

を。

特にカラーリングに関しては比べてご覧いたくことが画面でできますから、非常にお客様の説得力は高くなります。カラー・シミュレーションなど納入事例を写真でたくさんご覧いただけるのが、今好評です。

—「カタラボ」も確認できるポータルサイトが必要でしょう。

特にこれからリフォームがどんどん増えていく中、動画の配信や購入者の声などを掲載していくことも盛んになってくるでしょう。「カタラボ」も今後、より進化していくほしいと思います。

—紙のカタログに対する形を持つていかないといけないんじゃないのか、という思いはあります。紙を減らして電子化できればコストも減ります。

—紙のカタログは、年間で膨大な投資です。

—実際はゼロになることはないと思います。

特にある程度年配の方は紙カタ

ログを使い込んでいますからね。

カタログのこの辺りのページの右隅にあの商品があるので、のうな覚え方をされていますので、レイアウト変更することも難しい。それぐらい使い込んでいたているので、そういう方に、じゃあ今後はすべて「タブレット端末」で、というわけ

もいきません。

—「カタラボ」の魅力は、ワンストップでいろいろなメーカーのいろいろな商品が見られるところだと思います。しかし、もともとオールパナソニックで、住宅に関わるほんどの商品を持った御社が、なぜここまで積極的に参加

を。

特にカラーリングに関しては比べてご覧いたくことが画面でできますから、非常にお客様の説得力は高くなります。カラー・シミュレーションなど納入事例を写真でたくさんご覧いただけるのが、今好評です。

—「カタラボ」も確認できるポータルサイトが必要でしょう。

特にこれからリフォームがどんどん増えていく中、動画の配信や購入者の声などを掲載していくことも盛んになってくるでしょう。「カタラボ」も今後、より進化していくほしいと思います。

—紙のカタログに対する形を持つていかないといけないんじゃないのか、という思いはあります。紙を減らして電子化できればコストも減ります。

—紙のカタログは、年間で膨大な投資です。

—実際はゼロになることはないと思います。

特にある程度年配の方は紙カタ

ログを使い込んでいますからね。

カタログのこの辺りのページの右隅にあの商品があるので、のうな覚え方をされていますので、レイアウト変更することも難しい。それぐらい使い込んでいたているので、そういう方に、じゃあ今後はすべて「タブレット端末」で、というわけ

もいきません。

—「カタラボ」の魅力は、ワンストップでいろいろなメーカーのいろいろな商品が見られるところだと思います。しかし、もともとオールパナソニックで、住宅に関わるほんどの商品を持った御社が、なぜここまで積極的に参加

を。

特にカラーリングに関しては比べてご覧いたくことが画面でできますから、非常にお客様の説得力は高くなります。カラー・シミュレーションなど納入事例を写真でたくさんご覧いただけるのが、今好評です。

—「カタラボ」も確認できるポータルサイトが必要でしょう。

特にこれからリフォームがどんどん増えていく中、動画の配信や購入者の声などを掲載していくことも盛んになってくるでしょう。「カタラボ」も今後、より進化していくほしいと思います。

—紙のカタログに対する形を持つていかないといけないんじゃないのか、という思いはあります。紙を減らして電子化できればコストも減ります。

—紙のカタログは、年間で膨大な投資です。

—実際はゼロになることはないと思います。

特にある程度年配の方は紙カタ

ログを使い込んでいますからね。

カタログのこの辺りのページの右隅にあの商品があるので、のうな覚え方をされていますので、レイアウト変更することも難しい。それぐらい使い込んでいたているので、そういう方に、じゃあ今後はすべて「タブレット端末」で、というわけ

もいきません。

—「カタラボ」の魅力は、ワンストップでいろいろなメーカーのいろいろな商品が見られるところだと思います。しかし、もともとオールパナソニックで、住宅に関わるほんどの商品を持った御社が、なぜここまで積極的に参加

を。

特にカラーリングに関しては比べてご覧いたくことが画面でできますから、非常にお客様の説得力は高くなります。カラー・シミュレーションなど納入事例を写真でたくさんご覧いただけるのが、今好評です。

—「カタラボ」も確認できるポータルサイトが必要でしょう。

特にこれからリフォームがどんどん増えていく中、動画の配信や購入者の声などを掲載していくことも盛んになってくるでしょう。「カタラボ」も今後、より進化していくほしいと思います。

—紙のカタログに対する形を持つていかないといけないんじゃないのか、という思いはあります。紙を減らして電子化できればコストも減ります。

—紙のカタログは、年間で膨大な投資です。

—実際はゼロになることはないと思います。

特にある程度年配の方は紙カタ

ログを使い込んでいますからね。

カタログのこの辺りのページの右隅にあの商品があるので、のうな覚え方をされていますので、レイアウト変更することも難しい。それぐらい使い込んでいたているので、そういう方に、じゃあ今後はすべて「タブレット端末」で、というわけ

もいきません。

—「カタラボ」の魅力は、ワンストップでいろいろなメーカーのいろいろな商品が見られるところだと思います。しかし、もともとオールパナソニックで、住宅に関わるほんどの商品を持った御社が、なぜここまで積極的に参加

を。

特にカラーリングに関しては比べてご覧いたくことが画面でできますから、非常にお客様の説得力は高くなります。カラー・シミュレーションなど納入事例を写真でたくさんご覧いただけるのが、今好評です。

—「カタラボ」も確認できるポータルサイトが必要でしょう。

特にこれからリフォームがどんどん増えていく中、動画の配信や購入者の声などを掲載していくことも盛んになってくるでしょう。「カタラボ」も今後、より進化していくほしいと思います。

—紙のカタログに対する形を持つていかないといけないんじゃないのか、という思いはあります。紙を減らして電子化できればコストも減ります。

—紙のカタログは、年間で膨大な投資です。

—実際はゼロになることはないと思います。

特にある程度年配の方は紙カタ

ログを使い込んでいますからね。

カタログのこの辺りのページの右隅にあの商品があるので、のうな覚え方をされていますので、レイアウト変更することも難しい。それぐらい使い込んでいたているので、そういう方に、じゃあ今後はすべて「タブレット端末」で、というわけ

もいきません。

—「カタラボ」の魅力は、ワンストップでいろいろなメーカーのいろいろな商品が見られるところだと思います。しかし、もともとオールパナソニックで、住宅に関わるほんどの商品を持った御社が、なぜここまで積極的に参加

を。

特にカラーリングに関しては比べてご覧いたくことが画面でできますから、非常にお客様の説得力は高くなります。カラー・シミュレーションなど納入事例を写真でたくさんご覧いただけるのが、今好評です。

—「カタラボ」も確認できるポータルサイトが必要でしょう。

特にこれからリフォームがどんどん増えていく中、動画の配信や購入者の声などを掲載していくことも盛んになってくるでしょう。「カタラボ」も今後、より進化していくほしいと思います。

—紙のカタログに対する形を持つていかないといけないんじゃないのか、という思いはあります。紙を減らして電子化できればコストも減ります。

—紙のカタログは、年間で膨大な投資です。

—実際はゼロになることはないと思います。